# 東成瀬 図書館だより

2021. 7月号　No.72　発行　東成瀬公民館図書室
〒019-0801
秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字上野8-1
TEL 0182-38-8711　FAX 0182-38-8712
E-MAIL　narusejidoukan@carol.ocn.ne.jp

## ☆令和３年８月の特集＆新着案内☆

### ＜一般書＞

☆「　夏…涼味を求めて　」

| | |
|---|---|
| ひろがるうみ　海遊館のほん | 濱田　英明 |
| おうちでキャンプ with キッズ | JTB パブリッシング |
| 祭火小夜の後悔 | 秋竹　サラダ |
| ぼぎわんが、来る | 澤村　伊智 |
| ゼリー・プリン・ババロア・ムース | 福岡　直子 |
| ぼく　モグラ　キツネ　馬 | チャーリー・マッケンジー |
| 星落ちて、なお　（直木賞受賞作） | 澤田　瞳子 |
| テスカトリポカ　（直木賞受賞作） | 佐藤　究 |
| 貝に続く場所にて　（芥川賞受賞作） | 石沢　麻依 |
| 彼岸花が咲く島　（芥川賞受賞作） | 李　琴峰 |
| おれたちの歌をうたえ | 呉　勝浩 |

### ＜児童書＞

☆「おばけの絵本だいしゅうごう」

| | |
|---|---|
| きょうふのしりとり | 武田　美穂 |
| ようかいむらのわくわくなつやすみ | たかい　よしかず |
| 妖怪バス旅行 | 広瀬　克哉 |
| おばけトリックアート | グループ・コロンブス |
| ますますざんねんないきもの事典 | 今泉　忠明 |
| アーヤと魔女 | 宮崎　駿 |
| こわす | サリー・サットン |
| 日本一周妖怪めいろ　自然の巻 | 伊藤　まさあき |
| 鬼滅の刃　ノベライズ（全３巻） | 吾峠　呼世晴 |
| 小説　劇場版　七つの大罪 | 鈴木　央 |
| スタジオジブリのいろんなくらし | スタジオジブリ |

## ◇今月のオススメの一冊◇

### 『　ちゅら海からの風　』

うみまーる／著




沖縄・座間味島を拠点に世界中の海を旅しながら、生きものたちの豊かな表情やその生活ぶりを取材し、数々の共同作品を生み出しているディレクターと写真家のユニット〝うみまーる〟による、最新沖縄写真集。

### 『おばけやしきなんてこわくない』

ローリー・フリードマン／作

こわいものなしのサイモンは、友だちをさそっておばけやしき探検へ。幽霊にオオカミ男、吸血鬼。次々に出会う怪物たちに友だちは悲鳴をあげるけれど、サイモンはへっちゃら。ところが、最後にサイモンも逃げ出すほどこわいものが！それはいったい…？




＊この他にも多数取り寄せております。　電話で予約できますのでお尋ねください。

## ☆図書室利用案内☆

**８月の休館日**

１日　（第１日曜日）８・９日（祝日・振替休日）
15日（第３日曜日）　29日（第５日曜日）

★休館日の本の返却はブックポストへお願いします★

| | |
|---|---|
| 開館時間 | 午前９時３０分～午後５時３０分 |
| 休館日 | ・第１日曜日　・第３日曜日<br>・第５日曜日　・祝祭日<br>・年末年始 |
| 図書の貸出 | １０冊まで |
| 視聴覚資料 | ３点まで（ＤＶＤ・ＣＤ・ビデオ） |
| 貸出期間 | ３週間 |

# お知らせ

## 英語絵本をいただきました！

ALT のスージー先生のお母さまから、たくさんの英語絵本を寄付していただき、館内に展示しております。是非、気軽に手にとってご覧ください。





## ご協力お願いします



図書館では、蔵書管理・点検のため、本の所在確認作業を行っています。
ご家庭で、下記の図書館バーコードのシールが貼られた本やDVDがありましたら、ブックポストに返却くださるよう、お願いします。



→「なるせ児童館図書室」と印字されています

—第３回—

## わたしのとっておきの一冊

**民生課長　髙橋　弘克さん**　からの　オススメ



**「君ならできる」**小出　義雄　／著　幻冬舎

**有森裕子、高橋尚子という女子マラソン界の名選手を何人も生み出した、名伯楽として名高い小出義雄監督の人生訓が詰まった一冊。**

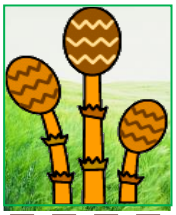
**名将ながら押しつけがましいところは全くなく、選手一人ひとりをしっかりと見つめ、しかも適切に導いてあげる指導法が書かれています。**

**ただし、監督自身が述べているように、この本を読んで同じ指導法を選手に当てはめたからと言って、そのチームが強くなるわけではないようです。**

**この本は、約 20 年前高橋尚子選手がシドニーオリンピックで金メダルを獲る前に書かれたので、ある意味、非常に説得力のある内容となっています。**

**まもなく東京オリンピック・パラリンピックが開幕します。コロナ禍で大変な時ですが、開催が決まったからには全出場選手を心から応援し、是非とも大会が成功してほしいと、この本を読んであらためて強く思いました。**

ぜひ一度読んでみてください



# 読みかたりグループ「つくしんぼ」コーナー

**おはなし会**
**8月　4日（土）**
**午前10:30～11:00**

## 会員のつぶやき！

**つくしんぼ会員　　蒔野　康子**



我が家に「夏ツバキ」という木がある。樹はそれほど太くないがスラリとした高木で、枝がよく伸び、たくさんの葉を繁らせ、花は寒い時期に咲く椿に似ているが色は白い。ビロードを連想するその花弁には、ふちに沿ってレースを施したような細かい模様もあり、とても綺麗である。しかしその姿は、高い枝とたくさんの葉に阻まれていて間近で直に見るのは難しい。なのになぜ、細かい模様まで見えたかというと、そのままの姿を保ったままボトッ…と落ちるのだ。そして徐々に褐色に変化していく。落ちてなお存在感があるのだが、そこは哀しい状況なので省略しよう…。

この木は「沙羅の木」とも呼ばれるが、平家物語に出てくる「沙羅双樹」とはよく似た別物とのこと。植物学的なことはわからないが、それを知った時妙に納得した。

夏ツバキの花はおよそ一日で落下するそうだ。おそらく直前まで美しいことだろう。落下後の変化を見るにつけ、あの「祇園精舎の鐘の声…」の一節や、壇ノ浦の戦いで煌びやかな衣を纏って入水していった女性達に想いがめぐる。ゆっくり平家物語を読んでみたら、また新しい発見があって面白いかもしれない。